

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 6 月 26 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500406		
法人名	医療法人社団さゆり会		
事業所名	グループホームさゆり		
所在地	広島県呉市音戸町早瀬1丁目36-6 (電話) 0823-56-2360		
自己評価作成日	令和元年5月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500406-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年6月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご自宅で過ごされていた時と、出来るだけ近い生活感を持って、当施設で過ごして頂けるよう、工夫、努力しています。ちょっと長めの入浴、ちょっと遠出のドライブ、ちょっと豪華な食事。ちょっとした楽しみを、生活の中にたくさん盛り込んでいます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>開設から二年でさらに2ユニットへと規模をひろげ、地域のニーズに応え昔ながらの交流を育みつつ利用者目線の心のこもった支援に取り組んでいる。瀬戸内へつづく島並みが見え潮風のそよぐ環境に恵まれた中、母体が医療法人であることから安心感の伴う拠り所として地域に根差した施設づくりに努めている。災害時対策にも力を注ぎ、昨年の上水被害に見舞われた際には系列の事業所や関係者他とのチームで乗り越え、地域ぐるみでの共助の絆を深めた。外出支援・園芸や趣味の活動・ボランティアの来訪など豊富なアクティビティを取り入れ、利用者の活動の場を増やし一人ひとりが生き生きと過ごせるよう、職員のスキルアップ研修や環境整備など側面からのサポート体制を整えケアの質の更なる向上に向け尽力している事業所である。</p>

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「すべての人の尊厳を大切にします。」「すべての人が両親を入所させなくなる施設を目指します。」を理念としている。個人のやりたいことを出来るだけ実現できるよう、援助していますし、地域で一番のグループホームだと評価されるようレクリエーションにも力を入れている。	全ての人の尊厳を大切にし安心につながるケアをスローガンに掲げ、日々の業務の中で話し合い職員間で意識統一を図っている。迷った時には理念に立ち返り、地域と共にあり続けられるよう努め実践につなげている。	理念に沿った事業所目標を定め、定期的に振り返り検証することにより職員間で更に深く共有化を図り、日々のケアに活かせるような取り組みに期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の散歩や、とんど焼き、漁港のイベントなどの地域行事に参加している。地域の名所へ観光ドライブに出かけている。選挙に投票できるよう、希望者には参加しやすいように援助している。	地域の季節行事に積極的に参加し、馴染み深い関わりを継続している。夏祭りなどの事業所イベントに地域住民の参加を促し、ここをより知って頂く機会を増やそうと交流の輪をひろめている。災害時にもお互いに助け合い、地域とのつながりを大切にした取り組みに励んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じ、自治会や民生委員に情報を発信している。認知症についてや、介護保険について、お話しさせていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、事業所の報告を行っているが、地域の行事や観光名所などを教えていただいたり、高齢者と関わるうえでのアドバイスを頂いたりしている。ご家族の参加を募ってはいるが、平日に行っていることもあり、参加が難しい。	自治会長・民生委員・行政関係者・利用者代表などの参加メンバーにより活動報告や意見交換がなされ、ヒヤリハット・事故報告及び対策についての報告も行われている。家族が参加しやすいようバーベキュー会と日程を合わせる計画も進行中である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	呉市担当者とは、書類の提出時や運営上での相談事を行っている。地域包括支援センターへは、定期的に管理者から連絡を取るようになっている。地域や家族からの介護保険全般の相談についても、ケースによっては情報提供し一緒に解決するようにしている。	地域包括支援センター職員の運営推進会議への出席を含め日頃から相談・手続き・報告などで密に連携している。地域住民や家族から相談を受ける場合もあり、状況に応じて解決策へ向け協力するなど関係性を紡いでいる。今後パブリックセンターでの活動参加も視野に入れている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約時に書面による説明、承諾を得ている。スピーチロックについて研修し、実際の場面での対応を日々、職員間で話し合っている。</p>	<p>言葉による抑制を含めた行動を制限する行為を行わない支援に努め、身体拘束に関する法人内研修でスキルアップへの意識を高めている。個々のケース検討や適正化について話し合い、日々の実践に活かせるようリスク管理に努め、見守りによる寄り添う支援に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>どのような事例が虐待にあたるのか、研修会を行っている。 また、グレーゾーンの虐待や虐待にエスカレートしていく行為についても学習している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会を開いて、学習している。 成年後見制度を利用している利用者様があり、実際のケースとして学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に書面による説明を行い、納得いただいてから、サインを頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置している。 窓口担当を決めて対応している。 ご意見や、苦情を対応したのち、運営推進会議を利用して委員に意見やアドバイスをいただいている。</p>	<p>面会時などで家族からの意見・要望を伺い、それぞれの職員が「家族ノート」に内容を記し共有化を図っている。ひとつひとつの意見に丁寧に対応し、改善策を講じ家族ほかの安心につながる取り組みに尽力している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	不定期でミーティングを行い、意見交換を行っている。 また、個別での意見、相談も随時受けている。	随時のミーティングにおいて職員間で活発に意見交換している。個々のパッド対応や食事内容などケアに関する事や、新設ユニットの活性化について職員意見が反映されるよう努めている。さらに各々の見解を深める機会づくりも検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	雇用契約書に提示している。 また、就業規則や給与規定をいつでも読めるようにしている。 職員が働きやすい環境になるよう、個別での相談を受けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会、勉強会、資格講習会などの参加要請や費用負担、参加しやすい勤務体制を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	呉市主催の集団指導研修、県介護福祉士会主催の研修に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食前、食後のテーブル拭きや、畑の作物の育て方、洗濯物たたみ、入浴後に着る服やタオルの準備を、職員と一緒に、お任せして行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居説明の時に、家族と職員が一緒になって介護することが、本人の安心や、良いケアになることをご説明し、連携を取り、無理のない面会をお願いしている。 また、夏祭りなど大きな行事の時は、家族の参加を呼びかけ、施設に関わる機会を設けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人、知人の面会を歓迎している。再度の来所をお願い、約束してお別れしている。</p>	<p>昔ながらのお付き合いが継続している友人・知人の面会も多く、再び訪れたくなる雰囲気づくりに配慮している。大正琴やサクソ演奏のボランティア・訪問美容の人達とのふれあいも利用者の楽しみのひとつとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	フロア部で過ごす時間を設けて、交流して頂けるよう声を掛けたり、レクリエーションの流れを考えて行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	死亡による退去の事例があります。その後も、ご家族からの相談があり、アドバイスを行っている。退去＝無関係にならないようにしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	考えていることや、思いを、個別でじっくり聞いたり、普段の日常会話にヒントがあることがあるので、ヒントを聞き逃さないようにしている。意思疎通が難しい方は、家族とも相談しながら、検討し対応している。	普段のさりげない会話やボディメッセージから思いや意向を汲み取り、個別記録に記して職員間で共有しアセスメントにつなげている。家族からも聴取しメモリアルストーリーも考慮しつつプラン作りに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	訪問調査で本人からヒヤリングを行っている。家族、ケアマネージャー、かかりつけ医からヒヤリングを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	訪問調査で本人からヒヤリングを行っている。家族、ケアマネージャーからヒヤリングを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケア会議や担当者会議を行い、本人、家族、いろいろな人から、いろいろな意見を集めて、より質の良いサービスが提供できるような、ケアプラン作りをしている。</p>	<p>担当スタッフが知り得た情報や本人・家族・医療関係者などの意見を取りまとめ、ニーズに沿った介護計画を作成している。出来ること・やりたい事など利用者の意思決定や生活意欲につながるプランとなるよう細やかな様子観察に努め、定期的にモニタリングを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>業務日誌やケース記録、連絡ノートを生かし、ケア会議で検討、集約しケアプランに反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>集団行動を強要せず、お一人お一人の希望に沿うように、対応している。食事を今スグは食べたくない方には、時間をずらして対応したり、入浴を拒まれる方には時間や日にちをずらし、時間に余裕のあるケアをしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣施設を活用したり、観光施設へ外出し楽しめるサポートをしている。また、施設が狭い島にあるため、友人、知人が多くおられ、来所をお願いして一時の楽しい時間を過ごして頂けるようサポートしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の往診が週に1回あります。また、入所前にかかっていた専門医の受診も継続して行っており、施設と医師との連携を密に取っている。</p>	<p>週三回の内科や口腔ケアを含む週二回の歯科の訪問診療・日に四回の訪問看護により利用者の健康管理を図っている。バイタルチェックや水分摂取量の把握に努め、専門医への同行支援も職員が担っている。AEDや救急セットの配備で緊急時に迅速な対処がなされ、入退院時のスムーズな対応にも努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	向井内科から訪問看護が午前午後、日に2回来られる。いつもと違う様子や、心配なことがあると、いつでも相談することができ、職員も、利用者も安心して過ごせている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入所中の介護サマリー、入院中の看護サマリーを情報交換したり、活用している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に書面で家族に説明している。また、医師から終末期に入ったと知らせがあれば、改めて本人、家族の意向を充分にくみ取れるよう、話し合える場を設けてサポートしている。	終末期に向けた指針があり、入居時に家族他へ説明している。重度化した場合、本人・家族の思いや意向に沿いつつ主治医と共に方向性をよく話し合い、最期までその人らしく過ごせるよう親身になった支援に取り組んでいる。家族ほかの気持ちに寄り添うグループケアにも配慮している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルや、医師、看護師からアドバイスや指示を受けて、勉強会を行っている。AEDや救急セットなど、日ごろからどこに何があるか確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署に協力依頼して、避難訓練を実施している。自治会とも連携し、近隣住民の方に援助頂いたり、援助したりできる関係を築いている。	消防署と連携し様々な想定で定期的に防災避難訓練を行なっている。昨夏の被災を教訓に地域との協力体制や防災備品の整備を強化している。ローリングストック法を活用し、飲料水・非常食・救援グッズなど、日頃から備え職員間で災害対策への意識を高めている。	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「慣れから言葉がけが雑になる」ことと「親しみを込めた言葉遣い」は、違うことを常に気にしながら、継続して指導している。 また、職員間でも気軽に注意しあえる関係を作っている。	親しき仲にも礼儀ありの精神で、一人ひとりの人格を尊重しその人に合わせた言葉掛けや、トイレ介助・居室入室時などのマナーに留意している。スタッフ間で気づきなど話しやすい関係づくりや職場環境を整え、細やかな配慮と共にプライバシー保護に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	どんなに小さなことだと思ってしまうことでも、決定権は利用者にあることを常に考え、利用者が思いを話しやすい雰囲気をつくり、選びかねているなら、アドバイスしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	午後からのレクリエーションは、お誘いはしていますが、参加を強要はしていません。天気や体調などを考慮して、ドライブにしたり散歩にしたり、屋内レクにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類は利用者を選んでいただいて着ている。 定期的に訪問美容室を招き散髪やカラー、パーマ、メイクでおしゃれを楽しんでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	施設食以外に、お弁当を持って公園に行ったり、散歩した後にお店で食事をしたり、お好きなものを選んでいただいて、召し上がっていただいている。環境が変わった食事は、摂取量も増えますが、楽しく会話しながら笑顔いっぱい嬉しくなります。	栄養バランスを考慮した配食サービスでの食事だが、筍など旬の食材を加え彩りを添えている。個別リクエストや嗜好にも応え各々が食べやすい形態で提供している。節分や敬老会・クリスマスには思い思いの手作りケーキなど行事食に工夫を凝らし、夏にはスイカ割りを皆で楽しみ涼感と共に味わっている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量と水分摂取量で栄養確認をしている。施設食は、専門業者による献立で、栄養価などの管理ができています。</p> <p>利用者に合わせて、食事形態を変え、安全に楽しく召し上がっていただいている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを行っている。ご自分では難しい方にはお手伝いさせていただいている。</p> <p>週に1回、訪問歯科を依頼し、専門的な口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄ペースをつかみ、失敗する回数を減らすよう努めている。</p> <p>日中と夜間との対応を変えてみたり、ポータブルトイレを使用することで安全に排泄することができている。</p>	<p>それぞれの排泄データに基づき、パターンやタイミングを見計らいトイレ誘導をしている。トイレには可動式手すりを備え安全面に配慮し、日中の活動量アップを心掛け、夜間の安眠を妨げない工夫や適切なパッド対応で気持ちよく過ごせる支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師から助言や指示、アドバイスを受けて学んでいる。</p> <p>排便の確認や水分摂取量、運動の促進をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予定を組んで対応している。</p> <p>しかし、体調や気分には十分配慮して行っている。</p>	<p>概ね週三回の入浴で個々の体調面や同性介助の希望などに合わせながら、シャワー浴・足浴ほかも含め柔軟な対応で支援している。一人ひとり湯船のお湯を変え清潔面に配慮し、四季折々の香りを浮かべリラクセスしながらゆったりと入浴できるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	食後や入浴後、運動後、体調などでゆっくりされたい方は、夜間の睡眠に影響が出ない範囲で、お部屋で休まれるよう、環境の整備や声を掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	かかりつけ医、看護師、薬剤師と連携している。 服薬内容がかわったら、職員間で情報の共有をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	本人の趣味や嗜好をくみ取り、他の利用者も楽しめるよう工夫し対応している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や体調によるが、散歩やドライブ、外食、地域行事、買い物に出かけている。	日常的な散歩やドライブがてらの買い物に加え、園芸や畑でのそら豆・玉ねぎ作りなどで職員と共に外気浴を楽しんでいる。亀山神社への初詣・温井ダムへ遠出のドライブ・広のオークアリーナへ弁当持参での花見など年間を通した外出行事も豊富である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を所持されている方はご自分で、そうでない方は、施設の立替えて買い物を楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や知人に連絡を取りたい方は、施設の電話をお貸ししている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアは、季節感がある飾りつけをしている。トイレはこまめに様子を見て清潔な状態を保つようにしている。共用部は不快なおいが出来るだけしないよう、換気や芳香に気を付けている。	リビングを中心に回りを居室が取り囲む機能的な造りで、窓からの採光も良く明るい雰囲気である。換気や清潔保持に努め、季節毎の飾りつけを利用者と共に楽しみ、個々がテレビを観たりソファで寛いだり自由に過ごせるよう快適な空間づくりを心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア部では、いつもは食堂のテーブル席に座られていますが、ゆっくりされたい時は、ソファへ移られ、うたたねされたり、他の利用者とお話しされて過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が過ごしやすいよう、部屋には自宅で使用していたものや、思い出のあるものを持ち込んでいただいている。衣類は普段着ていたものをお持ちいただき、好きな服を着ていただいています。季節の衣替えは、ご家族にお願いしている。	使い慣れた調度品・趣味の品々を持ち込み家庭での暮らしぶりが継続されるよう個性を活かした居室となっている。新設ユニットでは居室内にトイレ・洗面台も備えられた設えである。整容やおしゃれを楽しみゆったりと落ち着いて過ごせるスペースになるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることを取り上げてしまわず、安全に配慮して、日々の生活を楽しく送れるよう、職員に傳達している。		

V アウトカム項目(グループホームさゆり①) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「すべての人の尊厳を大切にします。」「すべての人が両親を入所させたい施設を目指します。」を理念としています。個人のやりたいことを出来るだけ実現できるよう、援助していますし、地域で一番のグループホームだと評価されるようレクリエーションにも力を入れています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の散歩や、とんど焼き、漁港のイベントなどの地域行事に参加している。地域の名所へ観光ドライブに出かけている。選挙に投票できるよう、希望者には参加しやすいように援助している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じ、自治会や民生委員に情報を発信している。認知症についてや、介護保険について、お話しさせていただいている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、事業所の報告を行っているが、地域の行事や観光名所などを教えていただいたり、高齢者と関わるうえでのアドバイスを頂いたりしています。ご家族の参加を募ってはいるが、平日に行っていることもあり、参加が難しい。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市担当者とは、書類の提出時や運営上での相談事を行っている。地域包括支援センターへは、定期的に管理者から連絡を取るようになっている。地域や家族からの介護保険全般の相談についても、ケースによっては情報提供し一緒に解決するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約時に書面による説明、承諾を得ている。スピーチロックについて研修し、実際の場面での対応を日々、職員間で話し合っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>どのような事例が虐待にあたるのか、研修会を行っている。 また、グレーゾーンの虐待や虐待にエスカレートしていく行為についても学習している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会を開いて、学習している。 成年後見制度を利用している利用者様があり、実際のケースとして学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に書面による説明を行い、納得いただいてから、サインを頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置している。 窓口担当を決めて対応している。 ご意見や、苦情を対応したのち、運営推進会議を利用して委員に意見やアドバイスをいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	不定期でミーティングを行い、意見交換を行っている。 また、個別での意見、相談も随時受けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	雇用契約書に提示しています。 また、就業規則や給与規定をいつでも読めるようにしている。 職員が働きやすい環境になるよう、個別での相談を受けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会、勉強会、資格講習会などの参加要請や費用負担、参加しやすい勤務体制を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	呉市主催の集団指導研修、県介護福祉士会主催の研修に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>自宅訪問を含め、生活環境を確認すること、本人・家族等へのヒヤリング実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食前、食後のテーブル拭きや、畑の作物の育て方、洗濯物たたみ、入浴後に着る服やタオルの準備を、職員と一緒に、お任せして行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居説明の時に、家族と職員が一緒になって介護することが、本人の安心や、良いケアになることをご説明し、連携を取り、無理のない面会をお願いしている。 また、夏祭りなど大きな行事の時は、家族の参加を呼びかけ、施設に関わる機会を設けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人、知人の面会を歓迎している。再度の来所をお願い、約束してお別れしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	フロア部で過ごす時間を設けて、交流して頂けるよう声を掛けたり、レクリエーションの流れを考えて行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	死亡による退去の事例があります。その後も、ご家族からの相談があり、アドバイスを行っている。退去＝無関係にならないようにしている		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	考えていることや、思いを、個別でじっくり聞いたり、普段の日常会話にヒントがあることがあるので、ヒントを聞き逃さないようにしている。意思疎通が難しい方は、家族とも相談しながら、検討し対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	訪問調査で本人からヒヤリングを行っている。 家族、ケアマネージャー、かかりつけ医からヒヤリングを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	訪問調査で本人からヒヤリングを行っている。 家族、ケアマネージャーからヒヤリングを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケア会議や担当者会議を行い、本人、家族、いろいろな人から、いろいろな意見を集めて、より質の良いサービスが提供できるような、ケアプラン作りをしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	業務日誌やケース記録、連絡ノートを生かし、ケア会議で検討、集約しケアプランに反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	集団行動を強要せず、お一人お一人の希望に沿うように、対応している。食事を今スグは食べたくない方には、時間をずらして対応したり、入浴を拒まれる方には時間や日にちをずらし、時間に余裕のあるケアをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣施設を活用したり、観光施設へ外出し楽しめるサポートをしています。また、施設が狭い島にあるため、友人、知人が多くおられ、来所をお願いして一時の楽しい時間を過ごして頂けるようサポートしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診が週に1回あります。また、入所前にかかっていた専門医の受診も継続して行っており、施設と医師との連携を密に取っています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	向井内科から訪問看護が午前午後、日に2回来られます。いつもと違う様子や、心配なことがあると、いつでも相談することができ、職員も、利用者も安心して過ごさせています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入所中の介護サマリー、入院中の看護サマリーを情報交換したり、活用しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に書面で家族に説明しています。また、医師から終末期に入ったと知らせがあれば、改めて本人、家族の意向を充分にくみ取れるよう、話し合える場を設けてサポートいたします。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルや、医師、看護師からアドバイスや指示を受けて、勉強会を行っています。AEDや救急セットなど、日ごろからどこに何があるか確認しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署に協力依頼して、避難訓練を実施しています。自治会とも連携し、近隣住民の方に援助頂いたり、援助したりできる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「慣れから言葉かけが雑になる」ことと「親しみを込めた言葉遣い」は、違うことを常に気にしながら、継続して指導しています。 また、職員間でも気軽に注意しあえる関係を作っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	どんなに小さなことだと思ってしまうことでも、決定権は利用者にあることを常に考え、利用者が思いを話しやすい雰囲気をつくり、選びかねているなら、アドバイスしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	午後からのレクリエーションは、お誘いはしていますが、参加を強要はしていません。天気や体調などを考慮して、ドライブにしたり散歩にしたり、屋内レクにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類は利用者を選んでいただいています。 定期的に訪問美容室を招き散髪やカラー、パーマ、メイクでおしゃれを楽しんでおられます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	施設食以外に、お弁当を持って公園に行ったり、散策した後にお店で食事をしたり、好きなものを選んでいただいて、召し上がっていただいています。 環境が変わった食事は、摂取量も増えますが、楽しく会話しながら笑顔いっぱい嬉しくなります。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量と水分摂取量で栄養確認をしています。施設食は、専門業者による献立で、栄養価などの管理ができています。 利用者に合わせて、食事形態を変え、安全に楽しく召し上がっていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の口腔ケアを行っています。ご自分では難しい方にはお手伝いさせていただきます。 週に1回、訪問歯科を依頼し、専門的な口腔ケアを行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄ペースをつかみ、失敗する回数を減らすよう努めています。 日中と夜間との対応を変えてみたり、ポータブルトイレを使用することで安全に排泄することができています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	医師、看護師から助言や指示、アドバイスを受けて学んでいます。 排便の確認や水分摂取量、運動の促進をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	予定を組んで対応しています。 しかし、体調や気分には十分配慮して行っています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	食後や入浴後、運動後、体調な どでゆっくりされたい方は、夜 間の睡眠に影響が出ない範囲 で、お部屋で休まれるよう、環 境の整備や声を掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	かかりつけ医、看護師、薬剤師 と連携している。服薬内容がか わったら、職員間で情報の共有 をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	本人の趣味や嗜好をくみ取り、 他の利用者也楽しめるよう工夫 し対応しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。	天気や体調によるが、散歩やド ライブ、外食、地域行事、買い 物に出かけています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金を所持されている方はご自 分で、そうでない方は、施設の 立替えで買い物を楽しんでいま す。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や知人に連絡を取りたい方は、施設の電話をお貸ししています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアは、季節感がある飾りつけをしています。トイレはこまめに様子を見て清潔な状態を保つようにしています。共用部は不快なおいが出来るだけしないよう、換気や芳香に気を付けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア部では、いつもは食堂のテーブル席に座られていますが、ゆっくりされたい時は、ソファへ移られ、うたたねされたり、他の利用者とお話しされて過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が過ごしやすいう、部屋には自宅で使用していたものや、思い出のあるものを持ち込んでいただいています。衣類は普段着ていたものをお持ちいただき、お好きな服を着ていただいています。季節の衣替えは、ご家族にお願いしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることを取り上げてしまわず、安全に配慮して、日々の生活を楽しく送れるよう、職員に通達している。		

V アウトカム項目(グループホームさゆり②) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさゆり

作成日 令和1年7月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		施設理念の周知はあるが、そこに向かうための職員個人の目標が明確になっていない。	職員の個々で目標を持ち、理念実現の為、介護技術の向上を図る。	半年ごとに目標を立て振り返りを行い、職員面談で評価し、ケアに活かしていく。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。